

重松伊八 荏原郡品川町北品川番二〇四

下村宏次郎 本郷區向岡彌生町三

白石邦彦 豐多摩郡淀橋町角等七二五

下村如道 同郡淀橋町柏木三六三田中伊三郎方

島内國彦 同郡代々幡村大字代々木新町二九

城島元雄 麴町區永田町二ノ一池尻方

比之部

久富安平 豐多摩郡澁谷町字下澁谷六一八

秀島成忠 赤坂區青山北町七ノ一九

平川敬一郎 同區青山南町五ノ四五

東耕一 芝區三田四國町二ノ三號

平尾信壽 豐多摩郡千駄ヶ谷町九〇三

毛之部

本野英吉郎 芝區三田綱町一(芝三〇二三)

森永友碩 京橋區南金六町一五(新橋四一)

百田藤吉 神田區東福田町二三

森山守次 府下王子町字王子岸八四三

森盛一郎 麴町區紀尾井町三(番町二六四一)

森多吉 本郷區湯島新花町三九

七之部

千住嘉七 麴町區永田町二ノ一

千住安一郎 芝區三田四國町二第一號

勢丈八 豐多摩郡澁谷町下澁谷二七八

關經雄 京橋區本木町三ノ二〇

千住喜作 赤坂區田町七ノ三

千住作市 豐多摩郡澁谷町下澁谷

又之部

角良一 京橋區本八丁堀五ノ一第三十銀行内

杉山正則 四谷區北伊賀町二七

鈴木三良 牛込區矢來町三ノ山里四一號

鈴木秀次 淺草區猿蓑町三ノ一五

住所不明之部

池田密三 石井 榮 石井 邦一

井口益吉 石井 忠虎 原 三郎

西村巳之吉 堀江彗次郎 江副龜太郎

江副英章 江頭信義 土井 雋

渡邊剛 大坪寬一 川崎 爲藏

横尾最一 立石豐造 田中義一

副島廣三郎 副島 敬二 副島 半三

野田竹一 名尾重太郎 永松 清

中村貞臣 永松 善堯 長友 武彦

牛島勝太郎 上瀧榮太郎 野田良三郎

池田 淳 千葉縣千葉町千葉寺通

犬塚俊之 佐賀縣杵島郡錦江村(洋行中)

石井猪太郎 横須賀市稻岡六四

生野太郎 八舞鶴海軍工廠

今泉哲太郎 英國駐在

石井周藏 佐賀市西田代町西正丹小路

糸山幸吉 福岡市大名町一八一

稻岡正文 京都市衣笠村字大將軍

生野章作 愛媛縣新居郡新居濱町總開

伊東彌太郎 栃木縣那須郡西那須野村

石丸忠實 高崎步兵第十五聯隊

石井永治 廣島市中町七六

稻葉俊太郎 廣島警察署

池田秀雄 仙臺市空堀丁二四

石井清一 佐賀市新馬場通り一

犬丸貞吉 佐賀縣三養基郡旭村

伊東龍城 筑前若松市山手通三丁目

八之部

橋本清次郎 愛知縣西春日井郡杉村大字杉村

畑瀨三子 北海道釧路國西幣舞町

晴氣市三 富山縣高岡市高岡縣區司令部

イ之部

石井八萬次郎 佐賀縣佐賀郡高木瀬村字長瀬一二九

肥前協會

地方會員

本村文雄

村山又六

諸岡房吉

古賀嘉男

貝田成德

福島藤一郎

辻喜一

平田泰次郎

大石準太郎

勢榮三

松山文九郎

鈴木虎之助

宮崎源三郎

小森米吉

古賀又式

深江種明

山崎喜八郎

納富忠一

長谷川良之 佐賀市水ヶ江町會所小路
原 朔次郎 佐賀縣佐賀郡中川添村大字早津江
馬場 爲一 同縣同郡久保泉村大字上和泉宇德永
祖 岩 哲 雄 同縣同郡東與賀村飯盛一〇五
原 善之丞 福岡縣三池郡三池村四ツ山
馬場崎 豐 三井四ツ山發電所
二之部 久留米市京町三ノ六九
西久保弘道 北海道札幌道廳官舎
二 位 景 暢 佐賀縣杵島郡武雄町
本之部 佐賀縣杵島郡武雄町
本 莊 庸 三 宇都宮野砲兵第二十聯隊
ト之部 宇都宮野砲兵第二十聯隊
豐増龍次郎 佐賀市松原町一七〇
德 島 勇 夫 佐賀縣小城郡小城町
富 永 平 六 同縣藤津郡西嬉野村
子之部 同縣藤津郡西嬉野村
千 布 高 成 佐賀市水ヶ江町
千 綿 和 平 北海道釧路國釧路郡真砂町七九
千々岩英一 大阪市東區本町四丁目
リ之部 大阪市東區本町四丁目
龍藤慶次郎 北海道札幌警察署

ヲ之部 小原小三郎 佐賀市赤松町龍泰寺小路下村方
於 保 規 一 佐賀縣小城郡牛津町
鬼崎 嘉 平 北海道釧路國釧路町大字真砂町
恩田信二郎 佐賀市松原町五八
岡 孫 六 同市赤松町一六九
大塚 五 郎 吳市四番町二丁目四十二番地
大木俊九郎 沖繩縣中頭郡北谷村縣立第二中學校
大 島 又 彦 豐橋騎兵第二十六聯隊
大坪 金 弼 佐賀市與賀町西精
岡村喜代志 新潟縣長岡市玉藏院町八八ノ甲
大木 延 建 愛知縣渥美郡高師村大字福岡字安海
大島良三郎 廣島步兵第十一聯隊
大城源三郎 靜岡市西草深町六〇
大野 豐 四 宇都宮第十四師團司令部
大家德一郎 大阪第四師團司令部
力之部 大阪第四師團司令部
柿原武熊 函館控訴院
川副芳太郎 松山市愛媛縣廳第四部
川崎 軍 治 門司稅關長官舎
蒲原久四郎 名古屋市中區仲ノ町二丁目

川 副 安 一 長崎市伊良林六一二
龜 川 利 作 佐賀市水ヶ江町一七七
嘉村彦四郎 佐賀市役所
目之部 佐賀市役所
横 尾 純 正 靜岡市水落町二ノ一九
横 尾 義 達 軍艦最上
吉崎喜八郎 佐賀郡西松浦郡西山代橋久津六四
夕之部 佐賀郡西松浦郡西山代橋久津六四
武 富 平 作 北海道函館區谷地頭町二
田口八太郎 福岡縣小倉市古船場町一四五ノ五
高 島 宣 明 姫路市北條口三四
田 中 秀 夫 函館地方裁判所
高洲謙一郎 大阪泉北郡港
田 中 惟 一 奈良縣大和生駒郡山町字北郡山新々
田中九勘七 長崎市淨興善町三菱社宅
田 川 辰 一 新潟縣長岡中學校
高木榮之助 兵庫縣尼ヶ崎町大物村二九〇ノ二
田 澤 義 鋪 靜岡縣安倍郡役所
田 中 一 郎 京都市東丸太町通熊野神社東入
田 中 忠 雄 大阪府西區築港五條通リ二ノ三一
田 中 鐵 三 郎 東城正次郎方
田中鐵三郎 兵庫縣武庫郡西ノ宮町川尻
二六一〇ノ二
肥前協會

高 取 伊 好 佐賀縣東松浦郡唐津町
田 雜 五 郎 香川縣高松市大字西濱新町工藝學校
リ之部 香川縣高松市大字西濱新町工藝學校
副島猪之助 佐賀市唐人町
副島勇次郎 名古屋市中區柳町鐵道院官舎九號
ツ之部 名古屋市中區柳町鐵道院官舎九號
堤 長 定 佐賀縣佐賀郡鍋島村字植木
鶴崎 範 治 兵庫縣武庫郡須磨浦療養院
堤 清 福岡縣北方輜重兵第二一ノ一
土 山 小 一 津聯隊區司令部
十之部 津聯隊區司令部
中 島 唯 一 佐賀市水ヶ江町一一九
鍋島 克 一 同市與賀町新地
永田佐次郎 佐賀縣藤津郡鹿島
永田小太郎 秋田市保戸野川反後町七
中 川 彌 一 郎 北海道釧路國釧路郡真砂町六二
永 松 文 一 神奈川縣三浦郡浦賀町遞信局海事部
中 西 興 二 大阪府北區北野元鶴ノ茶屋
南里 量 二 橫濱市元濱町三ノ二七
永野 靜 雄 佐賀市中町七五

中山常次郎 北海道札幌區南四條西十丁目
夏秋十郎 石川縣金澤市下本多町
名尾良辰 秋田市上長町
鍋島資高 佐賀市松原町中ノ小路一三〇
鍋島安美 熊本市外黒髪村坪井七三〇
中原菊兒 栃木縣廳
永淵常吉 千葉縣千葉町正面横丁六六五
中溝和吉 横濱市西戸部町税關官舎四三號
中村嚴 佐賀市赤松町石長寺小路
長森藤吉郎 神奈川縣逗子町大字新宿
△之部
村岡致遠 佐賀市赤松町
村岡喜美 横濱市西戸部町一六一
牟田三郎 佐賀縣藤津郡南鹿島村鹿島郵便局
村岡長太郎 仙臺歩兵第二十九聯隊
ウ之部
梅崎綱吉 佐賀市花房小路
浦島松雄 長崎縣諫早上町
宇都宮太郎 北海道旭川第七師團
ノ之部

野副本太郎 山口縣豐浦郡長府町門前八四二
野中義昌 佐賀市與賀町西精一三四二
野中猪三郎 長崎市辯護士
野口能毅 佐賀市役所
ク之部
黒木牧之助 佐賀縣杵島郡白石
倉永源一郎 佐賀市赤松町舊城内
黒田孫一 相州箱根塔ノ澤横濱電氣鐵道會社
久米猪一 仙臺市支倉通一〇
ヤ之部
安永義章 大坂市北區玉江町一丁目二
八坂甚八 佐賀縣三養基郡
山崎助太郎 同縣杵島郡山口村八丁
安滿欽一 青森市外陸軍官舎
山口鶴一 靜岡縣富士郡大宮町黒田三號社宅
山浦護 愛知縣豐橋市東八町乙ノ六二山田方
マ之部
増田貞一郎 佐賀市唐人町
松田萬太郎 廣島縣吳市濱田町三十番戸
松枝茂雄 佐賀市與賀町辻ノ堂

松田元武 鹿兒島歩兵第四十五聯隊
馬渡秀雄 大坂市北區東梅田町五六三
眞崎誠 三重縣津市三重縣師範學校
馬渡齋證 佐賀市水ヶ江町片田江通二五九
眞崎甚三郎 奈良歩兵第五十三聯隊
フ之部
藤瀬彌一郎 大分市荷揚町八三
藤井綠七 佐賀縣西松浦郡有田町
福富甚吉 北海道釧路國釧路郡米町一三三
福島清 横須賀鎮守府附(在英國)
藤田春吉 石狩國奈井江高島第一農場
古澤治吉 岩代國若松市大町一之町二五
安田銀行支店社宅
藤田末尙 宮崎縣都城町早鈴
古川房吉 佐賀縣佐賀郡神野村一二六六
古川萬藏 小倉市京町小倉鐵道株式會社
藤崎發次 大坂市東區道修町明治生命保險會社
大阪支店
福田正三 福岡縣八女郡福島町

小森秀一郎 佐賀市松原町二七
小林芳郎 大坂控訴院檢事局
古賀熊一郎 佐賀縣三養基郡旭村字村田
古賀行倫 横濱地方裁判所
小池袈婆雄 佐世保市泉町一九黒川方
エ之部
江副靖臣 佐賀市松原町一〇〇
江口鱗六 臺灣馬公要港部
江副巽 佐世保海軍工廠會計部
枝吉順一 佐賀市赤松町石長寺小路
圓城寺良 佐賀縣小城郡晴田村
了之部
相原益功 相州鎌倉大手町一一六二
荒木亮一 同鎌倉町字雪ノ下二五九
青木助次郎 佐賀市西堀端
安住藤太 佐賀市與賀町
相浦雄太郎 佐賀縣佐賀郡神野村字神野

コ之部
小柳豐次郎 佐賀市唐人町
小島隈太郎 北海道釧路國釧路郡真砂町六一
古瀬常次郎 同釧路國釧路米町
肥前協會

サ之部
相良憲太 鳥取歩兵第四十聯隊
坂井惟義 佐世保市清水町一四
相良賴見 佐賀縣藤津郡南鹿島村

相良廣一 大阪歩兵第八聯隊
澤野久種 神戸市熊内町十番地
齋藤鐵太郎 佐賀市八幡小路

キ之部

北原健太郎 山口縣岩國稅務署
木原丈四郎 佐賀縣藤津郡七浦村飯田

ミ之部

御厨眞胤 神戸市葦合町一七二ノ四九
南官一 佐賀縣杵島郡須古村字馬田
宮原正康 佐賀縣佐賀郡西川副村小々森一五九

シ之部

柴田龜太郎 佐賀縣小城郡多久村
執行軌正 廣島地方裁判所
志波今朝一 三重縣津市久居町
島崎弘 佐賀縣立農學校
重松延孚 濱田歩兵第二十一聯隊
島内源一郎 長崎縣大村大村聯隊區司令部
志波敬高 奈良縣奈良市紀寺町字地藏町一〇〇四

ヒ之部

平野萬四郎 北海道函館區元町七〇
平野三郎 名古屋市中區數寄屋町一ノ四

平田驅馬尾 佐賀縣佐賀郡川上村字川上
秀島成一 廣手縣和氣郡湯田村長松嶺山

モ之部

百島一八 青森地方裁判所構内第一號官舎
森山武光 神奈川縣足柄下郡酒匂村四九〇
百田貞次 佐賀縣有田町泉山(洋行中)
本島芳武 佐賀市水ヶ江町一二二
森山爲太郎 南多摩郡八王子町字上野九

セ之部

關新甫 岡山市大字東田町四
千住武次郎 佐賀市佐賀中學校

ス之部

杉野久一郎 佐賀縣小城郡杵島村大字下古賀
杉山正之 山口歩兵第四十二聯隊
住所不明之部
入江保石 井秀八 林鐵次
早田猛七郎 江口俊次郎 富永傳次郎
都渡定久 大串重五郎 大江廣隆
蒲原源藏 田代九郎助 田代包義
辻眞禪 中島研一 中溝則武
中島安太郎 中島文平 成富三郎

1617 Gough street The Buddhist Mission San Francisco California U.S.A.

内田眺融 朝鮮平壤覆審法院官舎
向井巖 樺太豊原官舎甲第六號
中牟田五郎 滿洲營口南滿洲鐵道會社宅
香山權一 米國桑港日本總領事館
岡大四郎 支那香港三井物產會社支店
中島勇一 旅順忠海町二四
中島藤次郎 滿洲鐵道歩兵第五十聯隊醫務室
溝上政憲 暹羅盤谷チャロンクンク街二二一

No. 21-22 Charon kurong Rd Bangkok Siam

江藤源九郎 旅順市朝日町都督府官舎
糸山靜一 支那天津曙街八六號
南里三省 大連市南滿洲鐵道會社調查課
古賀才太郎 支那南京領事館
前田勝三郎 樺太眞岡裁判所官舎
峯直次郎 旅順衛戍病院
河内嘉一 朝鮮駐劄陸軍倉庫
住所不明之部
原正午 平山龜吉

肥前協會橫濱支部

明治三十二年五月設立

事務所 横濱市山下町一七七番、三井物産會社北村七郎方

横濱支部規則

- 第一 本會は肥前出身の有志者を以て組織す
- 第二 本會は肥前協會横濱支部と稱し事務所を横濱市に設置す
但し當分の内横濱市山下町一七七番三井物産會社北村七郎方に置く
- 第三 本會は東京肥前協會本部の主意を賛成し會員の和衷協同を計り進て公共の利益を増進するを以て目的とす
- 第四 本會は左の職員を置く 評議員十二名以上 幹事五名 書記一名
- 第五 評議員は會員中より推選し幹事は評議員中より互選し書記は幹事之を任免す
- 第六 評議員幹事の任期は一箇年とす但し再選することを得
- 第七 評議員は本會樞要の事項を議定するものとす
- 第八 幹事は本會の常務を處理するものとす
- 第九 評議員會は隔月一回之を開き亦事宜に依り臨時會を開くことあるへし
- 第十 本會は春秋二期に總會を開く但し評議員の議決に依り臨時開會することあるへし

横濱支部

第十一 評議員は月費金參拾錢を通常會員は金拾錢を出すものとす

第十二 本則は總會の決議に依るに非されは變更することを得す

第十三 特事の本會の事務を處理するものとす

第十四 評議員は本會の事務を處理するものとす

第十五 評議員特事の對候は一商卒とす其の再選することを得

第十六 評議員は會員中より選出され特事の再選を要し且其の任期は特事の再選を要す

第十七 本會は其の事務を處理し 評議員十二人以上 特事正決 舊第一條

第十八

第十九 本會は東京鹽商會本館の主意を賛成し會員の味更同を惜み其の利益を保護するものとす

第二十 當会の内務部市山す其の事務を處理し其の利益を保護するものとす

第二十一 本會は鹽商會本館の主意を賛成し其の利益を保護するものとす

第二十二 本會は鹽商會本館の主意を賛成し其の利益を保護するものとす

謝辭文

東京鹽商會本館 市山す其の事務を處理し其の利益を保護するものとす

東京鹽商會本館 市山す其の事務を處理し其の利益を保護するものとす

横濱支部會員

北村 七郎 横濱市山下町一七七三井物産横濱支店

小宮 養老 同住吉町二丁目二三

田代平太郎 同辨天通二丁目四〇

清水 龜吉 同辨天通四丁目七二

土山虎四郎 同高島町十丁目二四

益田 彦六 同太田町六丁目百四

山下與次 同元町四丁目百六十一

南里 量二 同元濱町三ノ二七

伊東幸吉 同辨天通二丁目原合名輸出部

中尾 昌清 同西戸部七二三

成松徳一郎 神奈川青木町三、五五五

中溝 和吉 横濱市戸部税關官舎

山村虎太郎 同山下町一七七三井物産横濱支店

横濱支部

肥前協會神戸支部 明治三十年設立

事務所 神戸市下山手通五丁目八十六番邸

神戸支部規則

第一條 本會は肥前出身の有志者を以て組織す

第二條 本會は事務所を神戸市に設置す

第三條 本會の目的は東京肥前協會本部の趣意を賛成し兵庫縣下及其近傍に在住する同郷人の一致協同を謀り進て公共の利益を増進せんとす

第四條 前條の目的を達する方法は時機に應し評議員會の議決に基くものとす

第五條 本會員を分ちて左の二種とす

一 特別會員 一 普通會員

第六條 本會に左の職員を置く 幹事 十名以内 評議員 若干名 書記 一名

第七條 評議員は會員より幹事は評議員より投票を以て選舉す其任期は各一箇年とす但再選せらるゝことを得

第八條 幹事は支部の事務を統轄し評議員會の議決を執行す

但緊急の事故は幹事之れを決行し次回の評議員會に於て其承認を求むへし

神戸支部

- 第九條 書記は幹事の指揮を受け記録計算の事務を掌理す
- 第十條 評議員會は毎月第一日曜日午後一時を以て開會す
- 第十一條 本會は毎年春秋二季に總會を開く
- 第十二條 特別會員は會費一箇月金壹圓普通會員は同金拾錢を納付するものとす
前項會費は毎月第一日曜日迄に事務所に納付すへし
- 第十三條 本會員は協會の報告として佐賀郷友青年會にて發行する『佐賀』を配布す
- 第十四條 會費の決算は幹事更任の期を以て前幹事より總會に報告し其承認を求むへし
- 第十五條 會員は何時たりとも出納簿を閲覧することを得
- 第十六條 本則は總會の決議に依るにあらずんば變更することを得ず

○同附則

- 第一 現金は銀行に供托し其出納は總て幹事二名以上の認印を要す
- 第二 本會員疾病事故等の爲め非常の困難に陥りたる時は相當の救助を與ふることあるへし
- 第三 本會員及其家族中死亡者あるときは本會に通知すへし此場合は造花又は香料等本會の名義を以て贈呈し會員一同へ會葬することを通知す
- 第四 附則第二項は幹事の評決を以て執行す
- 第五 會費は郵便電信切手を以て代納することを得
- 第六 幹事は毎月輪番を以て二名つゝ擔當者を定むることを得

神戸支部會員

商 館 員 犬 塚 兵 次	下山手通三ノ宮踏切上ル 侵水教會横小路入ル	鐵道院書記 武 藤 次 郎	中山手通七丁目三十一番 屋敷ノ七十一
川崎造船所技師 石 田 鐵 治		岡崎汽船主 田 崎 藤 吉	榮町五丁目一番踏切筋 明石郡鹽屋
大藏省臨時建築部 神戸支部技師 原 精 一	奥平野村	三井物産會社神戸 支店員 空 閑 義 治	下山手通三丁目
鐵道院書記 林 政 一	兵庫鐵道工場小出庫 日本綿花株式會社神戸出 張所	亞米利加第三番館 久 米 安 一	下山手通一丁目 楠町六丁目
日本綿花株式會社 馬 場 三 平	中山手通四丁目百番屋敷	八 澤 安 太	
神戸縣立病院副院長 西 廣 吉	大阪東區上本町	山 崎 克 明	元町四丁目福田屋 兵庫御幸通二丁目
大阪鐵道監督官 西 普 一	北長狹通一丁目五十三番 屋敷	賀 易 商 福 田 源 次 郎	
賀 易 商 富 村 富 一	楠町六丁目二百六十九番 屋敷	江 頭 作 太 郎	兵庫御幸通二丁目
神戸地方裁判所判 事 河 村 右 介	元町六丁目百四十五番屋 敷	朝 日 敏 輔	奥平野村百八番屋 敷
西洋雜貨商 吉 富 鶴 太 郎	下山手通五丁目八十六番 屋敷	秋 山 金 八	山本通四丁目百十八番屋 敷
武 富 誠 修	三ノ宮一丁目	宮 富 賢 三	奥平野村四十七番屋敷ノ 三十
田代重次郎		下 川 房 英	長田村百五番屋敷長田神 社裏手
樟腦專賣局神戸製 造所長 田 代 保		東 島 卯 八	奥平野村
須磨療病院院長 兵庫縣第一中學校 長 鶴 崎 糸 一	須磨療病院 葦合一丁目五十三番屋敷	百 崎 俊 雄	
神戸税關監視官 常 吉 德 壽	中山手通二丁目税關官舍	瀨 田 要 一 郎	熊内町二十六番屋敷
川崎造船所技師 鶴 田 傳 次 郎		鈴 木 四 郎	
土橋多四郎	武庫郡灘今津村		
辯 護 士 中 島 孝 叔			
神戸支部			

肥前協會大阪支部

明治三十年五月設立

事務所 大阪市北區中ノ島二丁目十三番屋敷

大阪支部規則

第一條 當部は肥前協會に隸屬し協會規則第十五條に基き設置す

第二條 當部は左の委員及職員を置く

評議員 二十名以上 幹事 七名 書記

第三條 評議員は會員中より推選す

第四條 幹事は評議員中より互選し 書記は幹事之を任免す

第五條 評議員の任期を一箇年とし幹事は半箇年を以て改選す

但し再選することを得

第六條 評議員は當部樞要の事項を議定するものとす

第七條 幹事は評議員會の旨に遵ひ庶務及會計を掌理するものとす

第八條 評議員會は隔月一回之を開き又時宜に據り臨時會を開くことあるへし

第九條 春秋二期に大會を開き都合に據り臨時會を開くことあるへし

第十條 評議員は毎月金壹圓を納むべきこと

大阪支部

第十一條 會員は毎月金貳拾錢を納むべし

但し學生は月費を要せず

第十二條 當支部を左の場所に置く

大阪市北區中ノ島二丁目十三番屋敷花屋

大阪支部會員

- 石井良一 大阪市電鐵部課長
- 川浪虎太郎 造幣局技師
- 小林芳郎 大阪控訴院檢事長
- 橋本重幸 日本生命保險會社重役
- 千々岩英一 帝國海上保險會社大阪支店長
- 岡實 鐵工所長
- 中島琢磨 日本紡績會社重役
- 菊池篤忠 回生病院長
- 山口清吾 測量師
- 杉野欽次郎 舶來雜貨商
- 岡孫六 陸軍少佐
- 安永義章 工業學校長
- 壺井初生 花屋
- 青木士慶 同

肥前協會北海道支部

明治三十年八月設立

事務所 北海道札幌區北七條西六丁目一番地

北海道支部規則

第一條 本會は肥前協會北海道支部と稱し在道佐賀縣人及舊藩人の一致協同を維持するを以て目的とす

第二條 當支部の趣意を賛成するものを會員となし分ちて

一 特別會員 二 普通會員 の二種とす

第三條 此の目的を達する方法は時の必要に應じ部員多數の賛同に基き且つ支部長の決する所に依る

第四條 當支部に於て役員を置き任期一箇年とす

但し再選することを得

支部長 一名 評議員 五名 幹事 四名 會計監督 一名

第五條 支部長は會員の推選により總ての會務を掌理す

第六條 評議員及び會計監督は特別會員中より支部長之を囑托し主要事件を評議す

第七條 幹事は普通會員中より支部長之を指命し其の指揮を受け事務を行ふものとす

第八條 特別會員には開會の都度相當の會費を徵集し普通會員は毎月金拾錢を納付すへきものとす

第九條 當支部は毎年春秋二回開會し尙ほ必要に應じて臨時會を開くことあるへし

北海道支部

第十條 新に會員たらんと欲するものは原籍及現住所記載の上當支部に申込むべきものとす
事務所の位置 札幌區北七條西六丁目一番地

北海道支部會員

役員

支部長 西久保弘道 北海道長官

評議員 浦川 忠藏 小樽區裁判所檢事

同 田代 兵八 北海道廳囑託

同 中野 研次郎 札幌第二中學在勤

同 野田 嘉一郎 實業

會計監督 廉嶋 元夫 札幌地方裁判所在勤

幹事 林田 孫一 札幌農科大學在學

同 山口 茂雄 同

特別會員 (順序不同)

西久保弘道 札幌區北三條長官々 佐賀 北海道長官

田代 兵八 同 苗穂町一番地 同 北海道廳林業指導

中野 研次郎 同 北一、東四 同 札幌第二中學教師

野田 嘉一郎 同 苗穂町 同 陸軍歩兵大尉

廉嶋 元夫 同 北二、西一 同 實業

井山 顯親 同 北三條官舎 同 札幌地方裁判所書記

北海道支部

黒澤 太郎 札幌區大通リ

副島 壽人 同 在道廳

百武 泰彦 同

龍藤 慶次郎 同 警察署在勤

壇野 禮助 同 炭礦汽船會社札幌支店

西村 龍雲 同

野副 正義 同

中島 九郎 同 大通新川通り

恒松 繁雄 同 北三條 同 神埼 農科大學助教授農學士

山口 官一 同 北八、西三 同 佐賀 道廳農務係

安富 晴藏 同 南二、西一〇 同 佐賀 官吏

古賀 常次郎 同 苗穂町一七、岸方 同 郵便局員

近藤 證治 同 第一中學 同 同校教諭

中島 廣吉 同 農科大學林學講堂 同 蓮池 農大助教授林學士

坂井 忠三 同 北九、西四 同 佐賀

岸 恒九郎 同 苗穂町 同

木村 袈裟次郎 同 郡定小湊 同 川久保 農業

宮原 哲 同 北一、西七大和 同 佐賀 札幌礦務局員

宮地 雷三 同 北一、東四 同 郵便局員

西村 忠純 同 北七、西五ノ一 同 蓮池 實業

宮原源城	札幌區北七、西五ノ一 小城會社員	三谷一郎	札幌區篠路村沼端 佐賀實業
森虎吉	同北一、東四 佐賀	南里虎一郎	同平岸村砥山 同農業
石田等	同北二、東一 佐賀拓殖銀行員	轟木萬造	同月寒二五聯隊官舍 同陸軍步兵中尉
井手辰次	同北八、鐵道官舍 杵島鐵道管理局員	大塚鼎吉	同同
井上茂吉	同苗穂町二〇 蓮池官吏	浦川忠藏	小樽區裁判所官舍 同
入江哲三郎	同山鼻町二三〇 實業	石丸英一	同色内町 同
石井又一郎	同同 道廳在勤	飯田三郎	同花園町一三 同
原田愛助	同南六、西二ノ八 佐賀日の出寫真館	武富新吾	同港務局支所内 同所員
林經雄	同北七、西三 有田實業	奧村勢一	同三井物產支社 同社員
林秀雄	同北七、西三 洋服師	重松祐二	同海運町六九 佐賀醫師
馬場善太郎	同東小學校内 同校訓導	久富貞治	同高等商業學校内 有田文部省建築係
遠田傳次郎	同南一、東一 小城實業	嶺川富平	同小樽新聞社内 唐津同社員
渡邊晴	同北六、西八 佐賀	宇都宮太郎	旭川第七師團司令部 第七師團長、陸軍中將
立野恒一郎	同南二、西一三 佐賀	廣瀨哲一	同上川支廳官舍 神埼同支廳第三係首席
中野勇	同南一、西七 鐵道管理局員	柿原武熊	同函館控訴院官舍 佐賀控訴院長
永倉熊四郎	同北八、東五 道廳拓殖係	田中秀夫	同地方裁判所官舍 檢事正
山下久三郎	同北五、西五 鐵道拓殖係	下村三四郎	同同 神埼檢事
岩九德次	札幌區真駒内御料地 小城農業	山田忠夫	同同 伊萬里同局員
馬場崎嘉一	同野幌村 小城農業	若田汀	同鐵道官舍 鐵道員
中原辰一	同新琴似村 郵便局員	平野萬四郎	同水力電氣會社内 佐賀同社長
宮地沿三	同江別村三五四 實業	百武千文	同同 釧路町鐵道官舍 多久鐵道員

函館郵船石狩丸乘込 商業

前田政八	釧路町 實業	中島秋藏	同同 函館郵船石狩丸乘込 商業
岩永謙吾	同鐵道官舍 伊萬里鐵道員	塘眞次郎	室蘭港札幌通 同
富村茂三郎	同同	野副又六	同海津町 佐賀印刷所
吉田德太郎	同同	古賀種一郎	同本町 小城道廳室蘭派出所員
武富隆太郎	同同	馬場崎治	同同 同上社員
武富米吉	同同	石井熊之助	同同 佐賀炭礦汽船會社員
中島研一	同同	迎忠順	同同 佐賀郡同
中川熊三郎	同同	八並柑九郎	夕張炭礦住宅 佐賀郡同
中川喜三郎	同同	三谷芳作	渡島國上磯郡富川村 神埼小學校々長
福富甚吉	同同	小副川豐太郎	帶廣河内稅務署内 佐賀稅務署員
藤田春吉	同同	江頭辰之助	天鹽國上川郡士別村 佐賀小學校々長
古賀恒次郎	同同	荻原藤太	石狩國千歲郡千歲村 佐賀小學校々長
吉竹才藏	壽都稅務署内 伊萬里稅務署員	永滿利八	同雨龍郡一己村 同
橫尾弘三郎	俱知安市街地 佐賀同病院長	末吉要吉	同夕張郡長沼村 佐賀小學校訓導
立野俊太郎	余市郡大江村 村長	九野傳八	同樺戸郡新十津 小學校々長
御厨三郎	同余市町役場宅 佐賀余市町長	坂口長三郎	同空知郡幌内炭山川上 公吏
吉田與平	石狩國空知郡沼貝村 農業	坂田龜太郎	同美瑛郡深川村 同
川崎敬太夫	同雨龍郡一己村 石狩郵便局長	市丸榮吉	同同 佐賀鐵道管理局員
盛辰次郎	同同 石狩汽船會社員	戸川霽見	同同 唐津工學士
未次鶴吉	同同 同社員	馬場良忠	同同 小學校訓導
南里作次郎	室蘭日本製鐵所 同社員		

深川鹿之助 虻田郡俱知安村
森勝次 北見國宗谷稅務署

第五學校長

普通會員 (順序不同)

黒川鷹揚	札幌東北帝國大學農科大學豫科在學
溝口忠男	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
林田孫一	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
山口茂雄	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
江口貫次	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
山下次郎	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
江頭哲二	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
山口朝雄	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
原禎三	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
山下善行	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
田代秀春	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
田代俊秀	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
西村忠亮	同 東北帝國大學農科大學豫科在學
古賀平次	同 東北帝國大學農科大學豫科在學

肥前協會鹿兒島支部

明治三十八年十月設立

事務所 鹿兒島市東千石町九八村田豐作方

鹿兒島支部會則

- 第一條 本會は在鹿兒島佐賀縣并佐賀藩に縁故ある諫早神代深堀の有志者を以て組織す
- 第二條 本會は肥前協會鹿兒島支部と稱し事務所を鹿兒島市に置く
但し當分の内鹿兒島市東千石町九八の村田豐作方に置く
- 第三條 本會は東京肥前協會本部の趣意を賛成し會員の和衷協同を謀り進んで公益を増進するを目的とす
- 第四條 本會は左の役員を置く
支部長一名 幹事五名以上
- 第五條 支部長は支部の事務を總理し幹事は支部長を輔佐し支部長不在其他事故ある時は之を代理す
但し緊急の事故は幹事の協議に基き支部長之を代行し次回の大會に於て會員に發表すへし
- 第六條 本會は毎年春秋二季に大會を開き尙役員の決議を以て臨時會を開く事あるへし
但し會計及會務は其都度報告すへし
- 第七條 本會は春秋二季に於て委員會を開くものとす
- 第八條 本會々員は出席の有無に不拘會費を徴收せらるゝものとす
- 第九條 本會に加入せんとするものは自己の郷里及現住所姓名を記し事務所又は役員に申込へし

鹿兒島支部

- 第十條 會員にして轉居又は退會せんとするときは其都度事務所又は役員に届出へし
- 第十一條 會員にして本部より雜誌の送附を望むときは役員に申出へし
- 第十二條 本會に於て決議を要する事件あるときは出席會員の過半數の同意を得るものとす
- 第十三條 本則は大會決議に非れば變更する事を得ず

附 則

- 第一條 本會員中疾病事故等の爲め非常の艱難に陥りたる者ある時は相當の救助を與ふる事あるへし
- 第二條 本會員中及其家族中死亡者ある時は本會に通知すへし 此場合は會員一同へ會葬する事を通知し 造花又は香料等を贈呈する事あるへし

鹿兒島支部會員

專賣支局長	秋山良三郎	春日町
大林區署	淺倉長氏	
肥料商	稻松貞一郎	住吉町二三八
縣立病院	宇野規矩治	春日町
內科部長	小野仁三	住吉町二三八
肥料商	交野熊吉	
大林區署	龜崎正男	
帝國生命保	草場季彦	加治屋町一〇〇
險會社	久保良澄	下龍尾町一六七
七高教授	黒木常太郎	
同	坂田淺吉	東千石町五六
地方裁判所	佐野常倫	上龍尾町
藥劑師	島田千里	
判事	勢三郎	
少佐	中島誠一	上龍尾町
檢事	西川三郎	
少尉	納富安太郎	上龍尾町
稅務署長	深堀代七郎	東千石町
茶商	益田兵三郎	

少佐	松田元武	長田町
大林區署	三好哲男	
醫師	村田豐作	東千石町九八
少尉	諸隈十郎	
洋服商	山口幸一	山下町一六三
自轉車商	渡島嘉一	六日町二七四
七高學生	峰松光二	一部三年甲
同	千布高彦	二部三年乙
同	前山爲佐夫	三部三年
同	山口喜四郎	一部二年甲
同	牟田次郎	一部二年甲
同	山口宗孝	一部二年乙
同	野々山健	同
同	小宮勇	一部二年丙
同	西岡軍二	一部一年乙
同	村岡元市	同
同	朝日武敬	同
同	江口彌一	一部一年丙
同	綾部勝朗	同
同	澁川直樹	同
同	石井直彦	二部一年甲

七高學生 中村 良三 三部一年
同 神崎 梧樓 同
同 片山 清信 同

肥前協會臺灣支部

假事務所 臺北北門口街二百七番戸有明商會内

臺灣支部會則

- 第一條 本會は肥前協會臺灣支部と稱す
- 第二條 本會は在臺佐賀縣人及舊佐賀藩に緣故ある諫早、神代、深堀出身の人を以て組織す
- 第三條 本會は東京肥前協會本部の趣旨を賛成し之れと連絡を保ち會員相互の和柔親睦を圖るを目的とす
- 第四條 會員を分ちて名譽會員正會員及通常會員の三種とす
- 第五條 會員たらんとするものは原籍及現住所職業を記載し當支部に申込むへし
- 第六條 前項の申込を受けたるときは會員名籍に登録するものとす
- 第七條 本會事務所を臺北に置く
- 第八條 本會に左の役員を置く
- 會長 一名 幹事 五名 評議員 若干名 書記 一名
- 第九條 會長は大會に於て之を選舉し幹事及評議員は會長の指名とし書記は幹事之れを指名す
- 第十條 本會役員の任期を滿一箇年とし再選することを得
- 第十一條 會長は本會を總理す
幹事は會長を補佐し會長不在のときは其の事務を代理す

臺灣支部

評議員は本會極要の事項を審議し幹事は常務を掌理するものとす

第十二條 書記は幹事の命を受け本會庶務に従事し通信、記録、會計、名簿等を調理するものとす

第十三條 本會に關する重要な事件は評議員會の決議を経て會長之を處理するものとす

第十四條 本會の會費は寄附金及會費を以て支辨す

第十五條 會員は本會を維持する爲め名譽會員及正會員は毎月貳拾錢以上普通會員は入會料として金貳拾錢を納付するものとす

第十六條 本會の會計年度は毎年一月に始まり其年十二月を以て之を終る

第十七條 本會は春秋二期に大會を開く

但し會長は必要に應じ臨時總會又は評議員會を開くことあるへし

第十八條 會長は春秋大會に於て幹事をして會計及會務を報告せしめ年一回會員名簿を配付するものとす

第十九條 本會々員中名譽會員及正會員には雜誌(佐賀)を配附す

第二十條 本會の收納金は會長の名義を以て銀行若くは郵便局に貯金として保管するものとす

第二十一條 支出は事務所の經常に屬するものは幹事の承認を経て書記現金取扱の任に當り臨時費其他の支出は會長の承認を経るにあらざれば支出することを得す

第二十二條 會員の身上に付重大なる事件發生したる場合並に會員時々の動靜は會員中より其旨事務所に申出へし

第二十三條 本則は大會の決議を経るにあらざれば變更することを得す

以上

臺灣支部會員

會長

名譽會員

幹事

評議員 (イロハ順)

石井爲吉
江里口秀一
大坪種辰
鍵山今朝吉
瀧野種孝
早田今朝治
中村十一郎
久保信之
松本眞輔
藤山正
後藤祐明

木下新三郎
石井常英
原吉太郎
御厨規三
谷口巖
山口十次郎
成富小十
今泉利興
江口良三郎
奥村勢一
合瀬徳太郎
副島寅三郎
永淵清介
野口有國
山口徳治
松村鶴吉郎
小宮元之助
古賀峰太郎

石井常英 臺北城內文武街三ノ一法
石井爲吉 同 院官舎
今泉利興 同 南門街二總督府官舎
井手權吉 臺北廳大加納堡古亭村庄
原吉太郎 臺北大稻埕河溝頭街鐵道
原口健太郎 同 部官舎
八谷精一 同 北門口街鐵道部官舎
馬場儀一 同 南新街一總督府官舎
西岡英夫 臺北府後街三丁目總督府
江里口秀一 同 城內府中街四ノ四
江口良三郎 同 大正街一三
江里口利三郎 同 城內北門街一ノ四六
江口種夫 同 大稻埕公學校官舎
江副清 同 下城庄臺北製糖會社
江頭喜三郎 同 龍口街三丁目臺北廳
豐田伸一郎 同 官舎
陳內順四郎 臺北廳芝蘭二堡北投庄五
大坪種辰 同 大稻埕河溝頭街鐵道
部官舎

寺田清繁 相賀照郷
北島秀一郎 平野文策

大塚兵久衛	臺北城內北門街四ノ一三	陶器商	副島傳七	臺北城內北門街三ノ三	自轉車商
奧村勢一	同 龍口街西門外街二ノ六	三井物產會社員	早田今朝治	同 城內撫臺街二ノ一九	醫師
小川五知	同 北門口街鐵道部官舍	鐵道部書記	鶴崎俊二	同 大稻埕下奎府聚街九	稅關鑑定官補
岡村左司馬	同 大加納堡龍口庄二	表具師	塚島作一	同 龍口街新起街三丁目	酒造業
小副川猛	同 城內石坊街一丁目	藥劑師	永淵清介	同 大稻埕詔安厝街六一	鹿島組出張所
緒方英一	同 龍口庄一三〇	藥種商	中村十一郎	同 東門街總督府官舍	總督府技師
大野清一	同 三板橋庄土名坪仔脚	牛乳商	成富小十	同 大稻埕北門口街	有明商會
健山今朝吉	同 城內府前街三ノ一	米穀商兼旅館	中野榮太郎	同 八里坌堡坑仔外庄土	製糖會社員
合瀨德太郎	同 龍口街新街三三七	醫師	牟田口保太郎	同 龍口街女學校官舍	女學校書記
勝屋米雄	同 龍口街八甲庄一二〇	通信屬	梅村好造	同 龍口庄四四一	國語學校教授
川崎義夫	同 大稻埕日新街派出所	臺北廳警部補	內田又四郎	同 南門街總督府官舍	總督府技師
橫尾善夫	同 東門街總督府官舍	總督府技師	內田勝昌	同 大加納堡錫口街神代	炭坑業
吉田規一	同 大稻埕河溝頭街鐵道	鐵道部書記	牛島芳太郎	同 府中街三ノ二二	菓子製造業
吉九喜一	同 龍口庄四九三	總督府屬	野口有國	同 龍口庄	臺北廳事務官
谷口巖	同 城內書院街一丁目三	醫師	野田益見	同 城內北門街一ノ二七	煉瓦會社員
瀧野種孝	同 大稻埕新興街二二	辯護士	久保信之	同 龍口庄一九二	醫學學校教諭
高橋音之助	同 龍口街一作業所官舍	作業所書記	山口十次郎	同 大稻埕港邊街二八	辯護士
田中善吉	同 城內撫臺街一ノ一二	機械製造業	山口德治	同 東門街總督府官舍	總督府警部
高木徹	同 龍口庄一一一	臺北廳稅務吏	山口卯作	同 龍口庄二九八	鑄造業
田中留次	同 龍口庄四二三	第三小學校教諭	山田勘太郎	同 東門外街八四	第二小學校教諭
副島寅三郎	同 東門街二總督府官舍	總督府屬		同 大稻埕下奎府聚街六	蕃務本署員

山下忠平	臺北城內文武街法院官舍	覆審法院書記	小島寬	臺北八甲庄三ノ吉川方	醫學學校醫員
松本真輔	同 城內府後街二ノ五	辯護士	寺田清繁	同 龍口街二四	貸席業
松村鶴吉郎	同 龍口街西門外街一丁目	辯護士	寺田石三	同 龍口街後街街七	總督府事務官
前田善太郎	同 城內北門街三丁目	陶器商	相賀照鄉	同 府前街五ノ二總督	愛國婦人會書記
松永彌三	同 城內府中街四丁目四	江里口商店內	相良安道	同 城內文武街三ノ四一	臺灣建物會社員
真崎武夫	同 龍口街四丁目三十番	工部部書記	佐々木敬一	同 大正街一ノ二四	臺北製糖會社員
藤山正	同 龍口街大溪口街四二	貸席業	木下新三郎	同 龍口街新起街一ノ二〇	臺北製糖會社員
深川善太郎	同 龍口街四丁目五五	貸席業	北島秀一郎	同 龍口街一ノ一七郵便	臺北郵便局電信課
藤瀨猛	同 城內北門街郵便局官	通信屬	木原和一	同 城內府前街三丁目	雜貨商
古川長一	同 八甲庄二〇三	總督府技師	北村朝一	同 龍口街三ノ三〇臺北	臺北廳屬
藤永文發	同 城內府中街一丁目四番	臺灣銀行員	北島淳一郎	同 龍口街三ノ三〇臺北	鐵道部書記
藤田積造	同 龍口街六丁目一六	臺灣銀行員	岸田永英	同 龍口街二ノ六三	女學校教諭
小宮元之助	同 城內府中街一丁目	辯護士	北島政矩	同 龍口街二ノ六三	臺北廳員
後藤祐明	同 南新街一ノ一〇總督	總督府警視	木村武一	同 龍口街西門外街二丁目	ライオン書記
小池謹一	同 府前街一ノ四二總督	總督府屬	御厨規三	同 南新街練習所官舍	總督府警視
古賀峰太郎	同 大稻埕詔安厝街	米穀商	溝口萬藏	同 龍口街八甲庄一〇八	料理店業
小出二郎	同 南門外專賣局官舍	專賣局技師	宮原彌一	同 新庄支廳官舍	臺北廳警部
小柳三郎	同 北門口街五六鐵道部	鐵道部技師	宮原龜吉	同 城內府前街二ノ六三	用達商
小柳增太郎	同 書院街六丁目法院官	地方法院書記	水田辰次郎	同 龍口街新起街三二	疊製造業
古賀善次	同 龍口街三二臺北廳	臺北廳屬	宮崎鶴一	同 大稻埕建成街一ノ一	請負師
古賀彌太郎	同 臺北廳警務課官舍	臺北廳警部補	執行勤四郎	同 總督府土木課內	土木局技師

白木 勇八	臺北龍匣口庄三三	總督府屬
白石 孝一	同 東門街測候所官舎	測候所技手
柴田 末藏	同 北門口街鐵道部官舎	鐵道部書記
庄 信雄	同 大加納堡下埃庄臺北製糖會社々宅	臺北製糖會社員
平野 文策	同 大稻埕下奎府聚街六一	稅關支署長
平山 勝市	同 龍匣口庄一三一	理髮業
森永 隆三	同 龍匣口庄專賣局官舎	專賣局書記
森 三郎	同 總督府殖産局移民課内	總督府技手
森 平太郎	同 城内府中街四ノ九	菓子製造業
本村 儀作	同 東門外臺北醫院官舎	臺北醫院醫師
千住 精一	同 東門街總督府官舎	總督府屬

肥前協會上海支部

明治四十三年六月十日設立

事務所

上海洋涇濱一五町田洋行西山嘉六方

Maehida Yoko.

No. 15, Yang King pang, Shanghai.

上海支部規則

- 第一條 本會を肥前協會上海支部と稱す
- 第二條 本會は在上海舊鍋島藩出身者を以て組織す
- 第三條 本會の目的は會員相互の親睦を計り同郷人の窮困を救ひ進んで在郷有志又は實業團體と協同し郷里實業の發達を期するにあり
- 第四條 本會大會を春秋(四、十一月)の二期に開き小集會を毎月第一土曜午後六時より開催す但し會場は當分東和洋行内とし大會の時日及小集會時日變更の際は特に通知すへし
- 第五條 本會を維持する爲め會員より一箇月墨銀二十仙を徴收す但大會費は別に之を附加する者ごす
- 第六條 本會に理事五名を置き會務一切を處理せしめ理事中より理事長を互選す但理事は會員中より選舉し其任期を一箇年とす
- 第七條 理事長は本會の主宰者にして會務を總攬し理事は理事長を補佐して庶務、會計、通信の事務を分

上海支部

擔す

第八條 本會に入會せんとする者は理事の承諾を受くへし又會員にして退會せんとする者は其旨理事へ届出づるを要す

第九條 本會會則は會員二分の一以上の意見に依り變更する事を得

第十條 會費滯納三箇月に及び或は本會の體面を汚す等の行爲あるものは退會を命する事あるへし

附 則

第一 在上海陸海軍同郷人並に本會の主旨を賛成する同郷の士は會友とす

第二 時宜に依り理事の協議を経て本會臨時總會を開く事あるへし

上海支部會員

幹事

副島綱雄

西山嘉六

會員

增田高頼

上海駐在武官海軍中佐

副島綱雄

同 半田綿行

草場茂一

同 ヲッドマン商會

南 寬一

同 正金銀行支店

田邊環

同 日清汽船會社

南里佐一郎

同 南里洋行

塚原嘉一郎

同 三井物産支店

立川團三

同 同前

黒木保

同 黒木洋行

八谷時次郎

同 同前

松岡玄雄

同 松岡醫院

松岡玄壽

同 同前

百武思計夫

同 英學院

井手清

同 眞崎洋行

富永萬吉

同 同前

大島徳次

同 大日本麥酒會社

上海支部

加藤日吉

上海三菱公司

池田利作

同 富屋商店

樋口良助

同 嬉野館

久本吉次

同 久本洋行

吉岡活雄

同 天野洋行

牛島清一

同 大奏洋行

安藤寛

同 安部洋行

今泉桓三郎

同 紡績會社

右近未穗雄

同 臺灣銀行

鹽田雄三

同 郵便局電信課

築山マサ子

同 濁流記者

西山嘉六

同 町田洋行

眞島次郎

同 東亞同文書院教授

伊東友治

同 學生

古川壽八

同 同

富田壽男

同 同

野口小三

同 同

樋口俊雄

同 同

森儀四郎

同 同

山田儀四郎

同 同

計三十六名

三養基

鹿島志

小賀市

佐賀市

同 同

有田

多田

唐津

小賀市

佐賀市

同 同

牛津

佐賀

小城

小賀

錦江

唐津

神崎

小賀

神崎

佐賀

五一

軍友會

特別名譽會員

男子伯伯伯
爵爵爵爵爵

馬古古波中大大
場川賀多牟木野隈
源賀野倉遠常重
三太廉敬之吉羽信
郎郎造直助

犬伊江坂牟中石田
塚東副田田隈橋中
良祐廉春元敬重永
四郎穀藏雄學藏朝昌

名譽會員 (戰へ出征者)

軍醫總監
少將
同同同同同
主計
軍醫
同同同同同
大佐

菊地常三郎
青木助次郎
中村無一
牛島本蕃
長谷川良之
鶴田義紹
保田真直
菊地篤忠
古川氏潔
香月三郎

憲同砲騎同同同同同
中大佐
憲中大佐

志波今朝一
副島以辰
武富令治
赤司安義高
野田末尚
藤本梯次郎
橋下善太郎
深山掘猪之助
水町千

步兵中佐
同同同同同同同同同

古賀太一
土山小吉
重松延孚
伊東祐俊
早田滿郷
益田照遠
脇山下忠
原木野兼

軍友會

大山吉太郎
中山善次
中村榮太郎
磯野復六
山田孫三
晴氣清吉
中野研二郎
西原邦彦
成富米藏
須藤清鎔
橫山一
萩原才一郎
岡二一
深川愛次郎
藤川忠一
山口一誠
山本勝三郎
杉町竹太郎
實松友吉
村山里吉
石丸忠英
田尻愛種
石井賢吉

森上義幹
田崎寅太郎
石井雄一
光武驥次郎
平山吉郎
小川瀧四郎
宮則英
相良賴武
水町袈裟吉
甲斐靖
石川又八
太田良作
成富敬太郎
横尾勘六
野口秀一
木室判六
黒田嘉六
荒木泉
森芳雄
古賀才太郎

一一一

中村利一
松尾太八
坂井將一
大林又一
馬場四郎
納富勸一
杉森乙熊
古賀道俊
織田簡一
西田良助
北島種彥
於保貞夫
洪良九郎
山邊忠也
杉野逸馬
野田五郎
瀨戶口善六
岸川甚太郎
田久保多市
山口甚一郎
石橋松一

土井今朝吉
荒木張經
築貫愛三郎
古川與四吉
副島千吉
嘉村國三
山中忠一
川崎義人
蒲原彌三郎
石井賢熊
久米嘉六
岡本德次
貞包禎造
森永善一
野中忠太
古川良八
井上次郎
中島秀連
井手禮三
深川初太郎

五七

五八

五九

佐野熊太
中西種信
石田 劉
檳 英次
香月芳一
於保謹太郎
久布白 敬
秋山正一
齋藤信輔
野口忠五郎
原田貞六
三浦雄一郎
木下 幹一
永田美代春
北島 彌作
多々良健三
梁井直太郎
杉野久一郎
古賀源治郎
犬塚生太郎

六〇

大野豐四
成富利武
村岡長太郎
野方芳太郎
永山元彦
大島又彦
中島操

六一